

森林環境税活用事業報告④

高知北高では、「総合的な探究の時間」の〈私たちと環境〉グループが、「森林環境税活用事業」を活用して、自然環境について考える様々な活動を行っています。

「森林環境税活用事業」とは、高知県の取り組みの1つです。高知県では、県民みんなの負担で森づくりを進めるため、平成15年に全国に先駆けて森林環境税を導入しました。この税を使って森林環境学習への支援も行われており、それを高知北高でも活用しています。

その内容について紹介していきます。

7月15日(金)「牧野植物園訪問」

☆今回は、高知の自然環境を知ることが目的として、高知県立牧野植物園を訪問しました。お天気が心配されましたが、実習が始まるころには雨も上がり、夏の緑を感じながら観察ができました。ちょうど来年のNHK朝の連続ドラマに牧野富太郎博士が取り上げられることもあり、園内は活気がありました。

生徒たちからは、「ふむふむ広場で、四つ葉と五つ葉を見つけたので良かった。」「光を受けて光合成した水草が酸素を出している水槽があって、おもしろかった。」「牧野博士がたくさん植物に名前をつけているのは、植物のことをよく観察し、まるで子供のように接しているから素敵な名前を付けられたんだな、と思いました。」「入った瞬間いい香りがしました。いろんな植物が知れてよかったです。」などの感想がありました。この授業をきっかけに、これからも気軽に牧野植物園に足を運んでもらいたいです。

